

# NEWS CLIP & AV MATERIAL

## ◎ ニュースクリップ&映像教材



### ■ 「ICTの教育活用を推進する実践研究」始まる

(財)日本視聴覚教育協会、日本視聴覚教具連合会、学識経験者が連携して設立した「教育ICT活用 普及促進協議会」では、さる、7月21日、文部科学省共催、全国連合小学校長会他後援により「ICTの教育活用を推進する実践研究」事業を立ち上げ、企画委員会(主査・中川一史放送大学教授)を開催した。同事業では、ICTを活用した授業実践について、全国7ブロックで発表会を開催する。

## NEWS CLIP

### 協会情報

#### ■ 平成22年度(第37回)「全国自作視聴覚教材コンクール」に105作品が応募

(財)日本視聴覚教育協会主催、文部科学省後援による標記コンクールの今年度の参加作品は、105作品。内訳は以下の通り。

〈部門別〉 小学校部門(幼稚園を含む) 35作品

中学校部門9作品 社会教育部門61作品

〈種別〉 ビデオ 60作品 CD-ROM 24作品

スライド 2作品 紙しばい 16作品 TP 1作品

品 その他 2作品

なお、本コンクールの表彰式・上映会は平成22年9月17日(金)、東海大学校友会館(千代田区霞が関3-2-5)において行われる。

科学省を中心に始まった取組であり、今年も、各府省庁等が職場見学や業務説明等を実施する。

〈日程〉 平成22年8月18日(水)・19日(木)

〈対象〉 全国の小・中学生(原則として保護者同伴)

〈内容〉 26府省庁(内閣府・文部科学省・総務省・

財務省・警察庁他)ごとの特色を生かし、子どもたちを対象に、さまざまなプログラムを一斉に実施。

当日は、子どもたちの興味にあわせて霞が関を自由に歩くことができるよう、参加者には各府省庁等の

プログラムと地図が入った「子ども見学パスポート」を配布し、併せてスタンプラリーを実施する。

〈参加申し込み〉 事前申し込みが必要なプログラムと、当日でも参加できるプログラムがあるので、詳細は文部科学省のホームページにて確認。

<http://www.mext.go.jp/>

〈問い合わせ先〉 文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課 TEL 03-6734-2092

### 文部科学省情報

#### ■ 平成22年度「子ども霞が関見学デー」実施

「子ども霞が関見学デー」は、子どもたちが親の職場を見学すること等を通して、親子のふれあいを深め、広く社会を知る機会とするため、文部

### 研究会情報

#### ■ 日本教育情報学会第26回年会

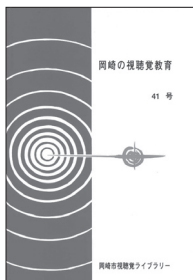
日本教育情報学会では、「教育の原点に光を当てる―乱流の中の本流を見出す―」をテーマに、

## ▶ 研究資料

- 「岡崎の視聴覚教育41号」
- 「2010要覧北村山視聴覚教育センター—地域住民に開かれたAVEセンターをめざして—」

標記2つの紀要は、昨今の視聴覚ライブラリーの活動を浮き彫りにしており、今後の視聴覚ライブラリーのあり方を示すものとなっている。

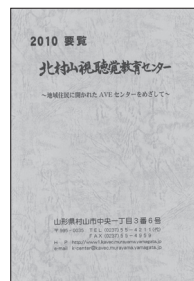
「岡崎の視聴覚教育41号」は、岡崎市視聴覚ライブラリーより、平成22年3月31日に発行された。内容は、目次から、視聴覚教育の実践として、1. 情報モラルについての研究、2. メディアリテラシーを育てる研究、3. 校務の情報化についての研究、4. メディアの利用・活用の研究、5. 自作視聴覚教材の制作とその活用等となっている。序文には、デジタルハイビジョンに対応したコンテンツや教材を開発・収集し、社会教育や学校教育へ配信していくライブラリーの役割は、ますます重要



と結ばれている。

〈問い合わせ〉 岡崎市視聴覚ライブラリー  
<http://www.oavl.jp/> TEL 0564-23-6789

「2010要覧北村山視聴覚教育センター—地域住民に開かれたAVEセンターをめざして—」は、北村山視聴覚教育センターより、平成22年4月に発行された。プラネタリウムを中心とした移動学習や自作教材制作の蓄積等の活動とともに、視聴覚教育研究委嘱として、ICTを効果的に活用した授業の実践、数学科における有効的なICTの活用、保健体育学習における視聴覚教材の活用についての研究、ICTを活用した授業の改善等も巻末に掲載されている。



〈問い合わせ〉 北村山視聴覚教育センター  
<http://www1.kavec.murayama.yamagata.jp/>  
 TEL 0237-55-4211

標記年會を下記の要領にて開催する。

〈日時〉 平成22年8月21日(土)・22日(日) 9:30より受付開始。10:00~16:30 22日は、15:30まで。

〈会場〉 じゅうろくプラザ(岐阜県岐阜市橋本町1-10-11)、岐阜女子大学文化情報研究センター(同市明德町10杉山ビル4F)

〈内容〉 基調講演「教育の原点に光を当てる—乱流の中の本流を見出す」早川信夫氏(NHK解説委員)、「戦場カメラマンの教育論」宮嶋茂樹氏(報道カメラマン・ジャーナリスト)、課題研究発表、一般研究発表、研究会フリートーキング等。

〈参加費〉 4,000円。但し、事前申し込み会員は、3,000円。詳細および参加登録は、下記を参照のこと。<http://www.gijodai.ac.jp/nenkai26/>

〈問い合わせ先〉 日本教育情報学会第26回年會実行委員会・日本教育情報学会運営本部事務局  
 TEL 058-267-5233

## コンクール情報

- (財)理想教育財団「第6回プリントコミュニケーションひろば」審査発表

(財)理想教育財団では、学校におけるよりよい

コミュニケーション環境の醸成をめざし、各種通信の編集・制作の質を高めることを目的に平成16年より、本コンクールを開催している。今回は、473件の応募が寄せられ、最優秀賞・理想教育財団賞には、学校だより「校報おやけ」(兵庫県たつの市立小宅小学校田中一典先生)が、他優秀賞、優良賞、ひろば賞などが決定した。詳細は、<http://www.riso-ef.or.jp/>を参照のこと。

〈問い合わせ先〉(財)理想教育財団  
 TEL 03-3575-4313

## 短信

■文部科学省生涯学習政策局参事官付の異動  
 平成22年7月1日付で参事官付学習情報係主任の為近雄一郎氏が参事官付教育情報施策調整係主任となり、後任には参事官付教育情報施策調整係研修生(新潟県見附市)水内智規氏が就任した。

■映機工業株式会社は、8月9日より、東京支社を下記に移転する。〒101-0031東京都千代田区東神田2-5-12龍角散ビル1F TEL 03-5823-0798 FAX 03-5823-1798

## AV MATERIAL

## 文部科学省選定作品

- 6月選定 紙紙しばい／ビデオ／DVD
- 「小学校向けエネルギー環境教育映像教材『エネルギーの時間!』」D15分〈小学校(高学年)、社会、総合的な学習の時間〉(株)放送映画製作所東京支社
- 「活躍する放射線!—普段は見られない放射線の利用—」D33分〈中学校、理科〉(株)放送映画製作所東京支社
- 「<sup>ドラッグ</sup>知ってますか 薬物の真実—体験者は警告する—」E21分〈中学校・高校、特活/少年・青年、家庭や地域等における教育(青年期)〉東映(株)
- 「小右衛門給水所」D74分〈高校・工業/青年・成人、地域社会生活(生活環境改善)〉東洋企業(有)
- 「子どもの育ち—0歳からの発達の道すじ—」E19分〈青年・成人、家庭や地域等における教育(乳幼児期)〉(株)リュック
- 「おみすてになるのですか—傷痕の民—」D108分〈青年・成人、教養〉(株)クリエイティブ21
- 「走れ日本!FCV—JHFC 1,100kmの旅—」D21分〈成人・国民生活(環境・資源・エネルギー)〉東洋企業(有)

## 放送番組・Web配信

## 中学生日記

(土) 19:15~19:45 / NHK教育

翌週(土) 13:00~13:30 / 再放送 NHK教育  
 中部7県は翌週(土) 10:05~10:35 / 再放送 NHK総合  
 ※都合により番組内容が変更となる場合があります。

- 7日 夏のアンコール  
 「ボクの生えいずる悩み」(仮)  
 ※再放送枠(総合8/14(土)は、「全国高校野球選手権大会」のため休止  
 教育8/14(土)は、高校野球のスタンバイ)
- 14日 夏のアンコール  
 「図書館パラダイス」(仮)

※再放送枠(総合8/21(土)は、「欽ちゃんのワースト脱出大作戦(再)」のため休止  
 教育8/21(土)は、高校野球のスタンバイ)

- 21日 夏のアンコール  
 「少年は天の音聴く」—字幕版—(仮)
- 28日 「大垣ゲートボーイズ」

## 発見!人間力

※放送曜日・時間は地域によって異なります。  
 〈放送についての問い合わせ〉  
 (財)民間放送教育協会 TEL03-6406-2171

- 99回 7日「生命見守って—ガンに負けない心を持つため—」  
 (高知放送)
- 100回 14日「戦争の無い世界へ—紙芝居に込めた祈り—」  
 (静岡放送)
- 101回 21日「夢に向かって人生—本道—私は塩の芸術家—」  
 (北陸放送)
- 102回 28日「笑顔の女性ランナー—33歳視覚障害を乗り越え—」  
 (山口放送)

## エル・ネット

各機関で行われているさまざまな取り組みを視聴できます(<http://www.elnet.go.jp>)。

\*主なコンテンツの紹介\*

〈2ch 文部科学省から〉

「コミュニケーション教育推進会議」

文部科学省では、子どもたちのコミュニケーション能力の育成を図るための具体的な方策や普及のあり方について有識者等との意見交換等を行うため、文部科学副大臣主催の下、「コミュニケーション教育推進会議」を設置し、平成22年5月26日(水)に第1回を開催した。その模様を配信。